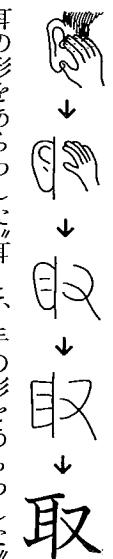


取

三年
画数
筆順
オシユ
クン
と
る



成り立ち

耳の形をあらわした「耳」と、手の形をあらわした「又」とを組み合わせて作った字です。

むかし、中国では、いくさでてきをたおすと、そのしようとことして左の「耳」を切り取りました。それで、「耳」と「又」とで「とる」という意味をあらわしたものです。音の「シユ」は「手」の音「シユ」をあらわしたもの

です。

▽「名月を取つてくれろとなく子かな」というはいぐあるのを知っていますか？小林一茶という人のつくったはいくです。わたしも、きれいにすんだ月を取つてほしいなあと思つたことがあります。みなさんは、そんなことはありませんでしたか？

▽この前の日よう日に、イチゴがりに行きました。取りたてのイチゴを、ミルクにひたして食べるのは、とてもすてきでした。いくつ取つたかわからなくなるほど、つぎからつぎへと取つて、食べました。

そんなことはありませんでしたか？

▽「名月を取つてくれろとなく子かな」というはいぐあるのを知っていますか？小林一茶という人のつくったはいくです。わたしも、きれいにすんだ月を取つてほしいなあと思つたことがあります。みなさんは、

使い方

熟語例

▽取得（自分のものにすること。手に入れること。「そろばんの一級免状を取得した」などというふうに、つかいます。）

▽取捨選択（取るか、捨てるかの、どちらかをえらぶことです。）

▽取材（新聞やテレビなどの報道や、小説などを作るのに、材料をあつめて取りあげること。「新聞記者が取材に来た」などというふうに、つかいます。）

▽取捨選択（取るか、捨てるかの、どちらかをえらぶことです。）

▽取材（新聞やテレビなどの報道や、小説などを作るのに、材料をあつめて取りあげること。「新聞記者が取材に来た」などというふうに、つかいます。）

使い方

熟語例

酒
三年
回数
10
筆順
オシ
クン
と
る
シユ
さけ・さか

成り立ち



酒を入れておくうつわ（酒がめ、または酒どくくり）

の形をあらわした「酉」と「シ」とを組み合わせて作った字で、「酒がめに入っている水じょうのもの」といういみの字で、「さけ」をあらわしました。

「酉」の音はユウで、油の容器である「由」と同じ音である。それは、「酉」も「由」も同じ容器だから、同じ発音の言葉であったのである。

「酒」の音は「水」の頭韻Sが「酉」に着いてシユウとなつたものが短くなつたものであり、「油」の音のユはシユがさらにつづまつたものである。「酒」も「油」も、元は「シユウ」という言葉だったのです。

▽うちの近くでは、お祭りになると、いくつも酒だるが積れます。おとのなの人たちが、うれしそうにお酒を飲んでいます。

▽飲酒（酒を飲むこと。「飲酒運転は危険ですから、絶対にしてはいけません」などというふうに、つかいます。）

▽美酒（おいしいお酒）

▽洋酒（西洋の酒。ウイスキー・ブランデーなどです。これに對して、日本古来の酒を「日本酒」といいます。）

▽酒量（酒の量。特に、お酒を飲む量のこと）

「おとうさんは、お医者さんに、『酒量をひかえなさい』といわれました」などというふうに、つかいます。）

▽酒食（酒と食べ物。「酒食を楽しむ」などというふうに、つかいます。）